

## 安全データシート

### 1. 製品および会社情報

製品名称 WESSO AIR MED \_AIR GUARD (調整済液)

使用目的 生物学的空気衛生：空気中に浮遊する細菌、バクテリア、ウイルスの除去

問い合わせ先

「デリバリークリーンサービス 0120-63-8686」

### 2. 潜在的な危険性について

危険性情報 H319 - 皮膚刺激を起こす

ラベル要素

該当なし 危険性のある物質や混合物は不使用

\*EUH210 リクエストにより安全性データシート閲覧可能

\*EUH401 人体と環境のリスク回避のための指針を遵守

他の危険性

高濃度で長時間にわたる皮膚との接触を避けること

全ての化学物質は潜在的に危険性を内包するので、

特別に訓練された者によってのみ扱われる必要がある。

### 3. 組成および成分情報

化学物質及び混合物

過酸化水素(CAS No. 7722-84-1, EC No. 231-765-0) 濃度：1 - 4%

\*法令(EC) No. 1272/2008に従った分類

Ox. Liq.1 H271, Acute Tox. 4 H302, Acute Tox. 4 H332, Skin Corr. 1A H314

安息香酸ナトリウム (CAS No. 532-32-1)濃度：2%以下

### 4. 応急処置

目に入った場合 大量の水ですぐに洗い流す。コンタクトレンズは外す。

もし症状が続く場合には医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 少量の場合には水を飲む。吐き出そうとしないこと。

医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 石鹼水で洗い流すこと。  
吸入した場合 適切な使用範囲では危険性はない  
その他 染み込んだ衣類を脱ぐ

## 5. 火災時の処理

### 消化剤

適した消化剤：泡消化剤、粉末消化剤、二酸化炭素、水  
成分物質による危険性について

成分物質は可燃性がなく、それ自体は燃えない

### 消化時の注意事項

火災区域では空気式呼吸器を使用する事

## 6. 漏出時の処置

### 人体に対する注意事項

皮膚と目への接触を避ける

発火の元となるような物からは離れる

### 環境に対する注意事項

排水管、地表水、地下水などに大量に排出してはならない

### 回収と清掃方法

機械的に回収と清掃を行う

### 参照

保護処置については第8項を参照のこと

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 安全な取り扱いの事前注意について

人体に関わる保護処置については第8項を参照のこと

### 安全な保管条件

通気キャップのある容器にしっかりとしまい、乾燥した40°C以下の場所に、  
可燃性液体から遠ざけて保存

### ユーザーの使用法

混合比率：必要に応じて33%から50% (1/3から1/2)

効果的に臭気を抑制し、菌、バクテリア、ウィルスの構成、繁殖を阻止する

## 8. ばく露防止及び保護処置

管理濃度 過酸化水素：Mac値：0.71mg/m<sup>3</sup> または 0.5ml/m<sup>3</sup> (DFG)

### ばく露許容量

使用法と使用濃度に基づいた適切な保護服、保護具を選ばなくてはいけない

目の保護具：サイズのあった、ゴーグル

皮膚の保護具：保護グローブ（ニトリルゴム、t>0.3mm）

呼吸器の保護：意図された使用条件下では特別な保護機器は必要ない

労働衛生の為：服に染み込んだ場合にはすぐに着替える。

付着による肌への刺激を予防し、休憩前や仕事後には  
手洗いをする。仕事中は飲食、喫煙を控える

## 9. 物理及び化学特性

基礎的な物理化学特性についての情報

形状： 無色液体  
匂い： わずかな酸性臭  
pH\_ (濃縮時 20°C) : 5.0-5.5  
pH (10g/L 希釈時 20°C) : 7  
比重： 1.1g/cm<sup>3</sup>  
融点： -12°C  
沸点： 105°C (1013hPa)  
引火点： 該当なし  
可燃性： 該当なし  
爆発リスク： 該当なし  
爆発性： 該当なし  
蒸気圧 (20°C) : 約20.0hPa  
水への溶解度 (20°C) : 全ての割合で混和する  
熱分解： 該当なし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性

当製品は通常の条件では化学的に安定である

潜在的に危険な反応

通常の条件と用途下では危険な反応は知られていない

避けるべき条件

熱応力

不適合な素材

特になし

## 11. 有害性情報

急性の経口毒性 LD<sub>50</sub>: mg/体重kgの値が2000以下

炎症 肌： わずかな刺激

目： わずかな刺激

吸入：知られていない

免疫感作 知られていない

追加情報 当製品は他の化学物を扱う時には注意深く扱われるべきである

## 12. 環境影響情報

毒性： 過酸化水素水

魚毒性 LC<sub>50</sub> : 37.4mg/l/96 h

藻毒性 EC<sub>50</sub> : 2.6mg/l/72 h

ミジンコ族毒性 EC<sub>50</sub> : 7.7mg/l/24 h (ダフニアマグナ)

残留と分解性

敏速な生分解性がある

他のマイナス効果

適切な運用と使用状況下では環境に対する有害な影響はない

1 3. 廃棄上の注意

廃棄処理方法

各地方自治体の法令に従うこと—無害廃棄物

1 4. 輸送に関する情報

UN ナンバー	不適用—無害物質
UNシッピング名	不適用—無害物質
輸送危険度	不適用—無害物質
パッキンググループ	不適用—無害物質
環境毒性	なし
使用者への特別な事前注意	不適用—無害物質
追加情報	運送上の規定上、無害物質として扱われる

1 5. 適用法令

安全、健康、環境についての関連法令と、物質、混合物のための特別法令  
国内規定(D) :

ストレージクラス VCI : 12

有害水クラス : 1 (水に対するわずかな有害性)

1 6. その他の情報

法令 :

- Regulation (EC) No. 1907/2006 on classification, labelling, and packing of substances and mixtures, amending and repealing Directives 67/548/EEC and 1999/45/EG and amending Regulation (EC) No. 1907/2006

- Regulation (EC) No. 453/2010 amending Regulation (EC) No. 1907/2006

参照 :

- Hazardous substances database GESTIS

- Merck, safety data sheets

第3項で使われているHから始まる文字列について :

H271 火災や爆発を起こす可能性あり ; 強酸化剤

H302 飲み込むと有害

H314 重篤な皮膚の化学火傷と目の損傷を起こす

H332 吸引すると有害

## WESSOCLEAN K50、WESSOCLEAN AIR MED\_AIR GUARD の細菌・ウイルスに対する効果

### ・SARS ウィルス

ハンブルグ熱帯医学研究所（ドイツの BSL 4 施設）において、SARS ウィルスへの実験で、WESSO 商品を**原液**にて使用した場合、**8 秒後**にウィルスを**不活化**することが確認されています。

### ・VSV（水疱性口内炎ウィルス）

ハンブルグ熱帯医学研究所（ドイツの BSL 4 施設）において、VSV への実験で、WESSO 商品を**10 倍希釈**にて使用した場合、**10 分後**にウィルスを**不活化**することが確認されています。

### ・H1N1 インフルエンザウィルス

MikroLab GmbH（ドイツ）において、H1N1 インフルエンザウィルスへの実験で、WESSO 商品を**100 倍希釈**にて使用した場合、**1 分後**にウィルスを**不活化**することが確認されています。

・MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）、レジオネラ・ニューモフィラ、結核菌、肺炎 K 菌、大腸菌、チフス菌、クロストリジウム・デフィシル、プロテウスミラビリス菌、酵母カンジダアルビカンス

エアランゲン。ニュールンベルグ大学医学衛生研究所（ドイツ）において、上記の細菌・ウィルスへの実験で、WESSO 商品を**40 倍希釈**にて使用した場合、**5 分以内**に全ての細菌は**検出されず**、全てウィルスを**不活化**することが確認されています。